

Innovation and Communication for Global Health Care - Medical Humanities -

医学・医療の先端化が加速する今、人間として、社会として、生命倫理や死生観、共同体の形を問い直す
未来をつくるための「メディカルヒューマニティーズ」

日時

2019年9月6日(金)

13:00~17:00 (受付 12:30~)

参加無料



お申し込みはこちら

会場

京都大学医学部 しらん 芝蘭会館 いなもり 稲盛ホール

共催 京都大学大学院社会健康医学系専攻健康情報学分野

※シンポジウムは日本語で行われます。基調講演は日本語解説付き。

プログラム (敬称略)

- 12:50~13:00 総合司会 近藤 太郎 (元東京都医師会副会長)
- 13:00~13:05 開会挨拶 高久 史麿 (一般財団法人グローバルヘルスケア財団筆頭評議員、前日本医学会会長)
- 13:05~13:15 来賓挨拶
- 13:15~13:25 趣旨説明 中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野教授)

第1部：基調講演

13:30~14:20 **What are the medical humanities and why do they matter?**

ブライアン・ハーウィッツ (ロンドン大学キングス・カレッジ教授)

座長 林 依里子 ((財)グローバルヘルスケア財団評議員、ロンドン大学 SOAS 客員教授)

(休憩 10分)

第2部：講演

14:30~15:00 **イノベーションの活用—超高齢社会の日本に期待すること**

王 惠民 (エドワーズライフサイエンス(株) 代表取締役会長)

15:05~15:35 **社会の基盤としてのヒューマニティーズ**

山中 燐子 (ケンブリッジ大学上級外交フェロー)

15:40~16:10 **人文社会系が日本の医療に貢献できるのか?**

カール・ベッカー (京都大学政策のための科学ユニット特任教授)

第3部：ディスカッション

16:15~16:45 座長 中山 健夫 講演者全員による討論及び質疑応答

16:45~16:55 閉会挨拶 幸田 正孝 ((財)グローバルヘルスケア財団評議員、元厚生省事務次官)

お問い合わせ先 グローバルヘルスケア財団 シンポジウム事務局

〒464-0858 愛知県名古屋千種区千種 2-24-2 千種タワーヒルズ 1F

TEL : 090-7856-4676 FAX : 052-745-6882

E-mail : symposium@fghc.or.jp

後援 内閣府、日本医師会、京都府医師会、先端医療推進機構

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻、

京都大学政策のための科学ユニット、日本医療研究開発機構

(後援申請中) 厚生労働省

会場は

しらん
芝蘭会館

で検索

